

第 26 回 CPD 協議会 ECE プログラム委員会拡大幹事会  
議事録

1. 日時：平成 26 年 4 月 7 日（月）15:15－15:40
2. 場所：森戸記念館 2 階第 2 会議室
3. 出席者：広崎膨太郎、川島一彦、岡田恵夫、奥津良之、尾崎章、加藤穂慈、高草木明、但田潔、長井寿、持田侑宏、山本誠、四戸靖郎

4. 資料

資料 26-1：第 25 回 CPD 協議会 ECE プログラム委員会拡大幹事会議事録(案)

資料 26-2：日本経団連との打ち合わせ

5. 議事

1) 前回議事録（案）確認

時間の関係で議事録（案）確認を省略し、意見があればメール審議することとした。

2) 日本経団連との打ち合わせ

資料 26-2 に基づいて、平成 26 年 3 月 25 日に行った経団連との打ち合わせ内容が但田幹事から紹介されたあと、以下の議論を行った。

（1）経団連では優秀な新卒者の採用に重点を置き、そのために大学教育や研究に注文を付ける形の提言や要望が多数出されてきているが、社内技術者の育成に対する要望、提言は会員企業から出されていない。この理由は、多様化しつつある現在の社会ニーズに対応できるように社員教育をすべきとの声はあると考えられるが、企業内の社員教育ができていないという問題提起は自分に跳ね返ってくるためと考えられる。

（2）優秀な新卒者を採用することにのみに関心を持ち、社内の技術者教育に関心が向かないのはおかしくないかとの指摘に対して、そう思うとの意見も出された。

（3）経団連からは、内部的に ECE プログラムの有効性を説明するためには、ECE プログラムを修了した技術者の能力向上度が所属企業によってどのように評価されているかを調査するとよいとの意見が出された。ECE プログラム修了者の意見と同時に、雇用者の意見も収集し、今後の施策に役立てる必要がある。

（4）今後とりまとめる「ECE プログラムの開発と実施ガイドライン」も含めて、ECE プログラムに関する情報を、逐次、経団連に送り、今後の情報交換を進める。

3) 今後の対応

（1）第 1 回 ECE プログラム委員会の審議結果に基づき、NIMS イブニングセミナー及び SICE 続々プロセス塾に対する平成 25 年度の認定証/修了証の授与、及び、平成 26 年度の継続認定を 4 月 15 日の日本工学会理事会に諮る。

（2）平成 25 年度の認定証/修了証の授与の準備を始める。授与者の氏名(ローマ字も含めて)を四戸事務局長(cc を幹事)に送る。授与者の氏名も理事会に諮る必要があるかもしれない。

(3) 平成25年度の認定証/修了証授与者の他、平成22年度以降のECEプログラム認定証授与者の氏名を日本工学会ウェブに掲載するに際し、本人の同意を得る必要がある。なお、ガイドラインにあるように、氏名の公表を望まない授与者の氏名はウェブに掲載しない。

(4) 「ECEプログラムの開発と実施ガイドライン」に対する修正意見等があれば、4月14日(月)までに川島幹事長まで送付する。CPDシンポジウムで配布できるように、4月末を目途に最終版を確定し、印刷製本にまわすと同時に、日本工学会のウェブに掲載する。

(5) CPDシンポジウム

平成26年5月15日(木) 13:00-17:00に「CPDシンポジウム」が森戸記念館B-1第1フォーラム室で開催される。幹事は極力参加する。

## 6. 次回

次回は平成26年6月頃とし、別途調整の上、定める。